

令和8年度学校だより



開校47年目

学校教育目標

キャッチフレーズ

自主 責任 明朗

夢・自信・誇り

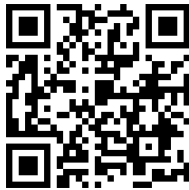
六中だより 4月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <https://j-dairoku-c-niiza.edumap.jp>

→
第
六
中
H
P
→



～「夢・自信・誇り」を育む学校を目指して～
「学校教育目標」と「キャッチフレーズ」

校長 中島 豊

保護者の皆様、お子様の入学・進級おめでとうございます。本校校長として2年目を迎えました、中島豊です。今年度もよろしく願いいたします。昨年度も折に触れてお伝えしてきた第六中学校のキャッチフレーズである「夢・自信・誇り」を掲げ、今年度も第六中学校をよりよい学校にしたいと思っています。

実はこのキャッチフレーズ、今から30年近く前に、当時の校長先生がおつくりになったものだそうです。その校長先生が異動して一度は薄れてしまったものを前任の影山校長先生が復活させて、私が引き継いでいます。

ところで、学校には「学校教育目標」というものがあります。第六中は「自主・責任・明朗」です。これは、各教室の前方に額に入れられて掲示してありますし、職員玄関を入ると、立派な木彫りの「学校教育目標」が飾られています。機会があったらご覧になってください。

第六中学校には、この学校教育目標とキャッチフレーズの2つがあるわけですが、私はこの2つは「別物」ではなく、「キャッチフレーズの延長線上に学校教育目標がある」と考えています。ボーリングで例えると、学校教育目標は倒すべきピンであり、キャッチフレーズは、ピンより手前にあるスパット（三角形の目印）のようなものだと考えています。ボーリングは、狙ったところに投げるため

には、18m先にあるピンをめがけて投げるのではなく、手前にあるスパットを狙うことがコツだそうです。生徒にとっては「『自主・責任・明朗』な生徒であれ」と言われるより、「『夢・自信・誇り』を持ちましょう！」と言われた方がイメージしやすいのではないかと思います。

とはいえ、夢も自信も誇りも、持つことは簡単なことではありません。昨年度、1年間、私は校長として、朝会などの全体の場で話すときには、生徒が「夢・自信・誇り」を持つことができるように、できるだけ前向きな声掛けをするように心がけてきました。時には問題点を指摘して改善を促すような話もしましたが、そのようなときでも、一方的に「ダメ出し」をするのではなく、できている部分を認めながら話をしてきたつもりです。今年度も、生徒が、前向きで明るく学校生活を送ることができるよう、「夢・自信・誇り」を持てるよう、生徒と接していきたいと思ひますし、また、校長としてできることを考えていきたいと思ひています。

そして、そのためには学校・家庭・地域が確かな信頼で結ばれることが必要であると考えています。令和8年度も第六中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

